

金沢動物園 ガウル

国内最後の一頭が死亡しました

国内では唯一金沢動物園でのみ飼育していたガウル、「イチゴ」が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡したガウルについて

- (1) 名 前 イチゴ
- (2) 性 別 メス
- (3) 年 齢 17 才 (平成 13 年 8 月 3 日生まれ)
- (4) 死亡日 平成 31 年 3 月 7 日 (木)
7 時 50 分に死亡確認
- (5) 死 因 肝炎



2 プロフィールと経過

イチゴは平成 13 年 (2001 年) 8 月 3 日に金沢動物園で誕生しました。

ガウルは警戒心が強く、とても神経質な動物で、イチゴも不意な物音や見慣れない物には大きく反応したり、獣舎に 2 人以上で入舎すると落ち着かなくなる等の様子が見受けられました。しかし、年齢を重ねるごとに様々な変化に寛容になり、以前は怖くて嫌がったことも落ち着いて受け入れるようになっていました。

過去に飼育していた個体と比べると、イチゴは比較的人に慣れていて、機嫌が良い時には自分から飼育員に寄って来る一面もありました。

平成 30 年 12 月頃から採食量が減少しはじめ、手当を続けていましたが、今年 7 日 7:50 に死亡を確認いたしました。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

金沢動物園 園長 原 久美子 Tel.045-783-9400

【参考資料】

1 ガウルについて

和名	ガウル
英名	Gaur
学名	<i>Bos frontalis</i>
分類	鯨偶蹄目 ウシ科
生態	インド、ネパール、ミャンマー、インドシナ半島の高地の森林地帯に、数頭から30頭ほどの群れをつくって生活。
形態	野生ウシの仲間では世界最大級で、オスでは体長3m、体高2.2m、体重は1tにもなる。体色はこげ茶色、前後の肢は白く、靴下をはいているように見える。肩から背中にかけて盛り上がっているのが特徴である。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 絶滅の危機が増大している種
国内飼育頭数	0頭
当園飼育頭数	0頭
当園での飼育状況	導入は1985年に2頭。 一番多く飼育していた頃は2001年～2003年で5頭を飼育。2006年頃から減少。これまでの繁殖実績は9頭。

2 金沢動物園について

- ◆入園料：一般500円、高校生・中人300円、小・中学生200円、小学生未満無料
(毎週土曜日高校生以下無料)
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30 (入園は16:00まで)
- ◆休園日：毎週月曜日(祝・休日の場合は翌日) 3/25・4/1・4/29は開園、5月は無休
- ◆交通：京浜急行「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場1番でバスに乗車
①「野村住宅センター」行きバスで約12分「夏山坂上」下車徒歩6分
②急行「金沢動物園」行きバスで約10分(土・日・祝のみ)
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/>
- ◆住所：横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
- ◆問合せ先：045-783-9100